

ペドゲイト：パンドーラの箱が開かれ・・・（５）

【訳者注】人間の「性」は、神と悪魔の間の攻防の一線であることが、これではっきりするのではないだろうか？ ローマ・カトリック教会が、聖職者の自然で健全な結婚を禁止したことによって、「性」の歪んだ犯罪的習慣に走るなら、サタンの侵入を受けるよりほかなかったであろう。「性」は人間の選択によって、神の宇宙創造の喜びに合わせることもできれば、サタンの宇宙破壊の暗い快樂に合わせることもできる。論者が言っている（３頁）、見えない悪の力を感じ取ることができなければ、この時期、生きていくことはできない。サタンはあらゆる巧妙な手を使って、人間を墮落させ、人間とこの世界を乗っ取ろうとしている。…こんなことを、かつては宗教家しか言わなかった。今、我々は日常のレベルで、自然にそれを言うことができる。学者の世界では相変わらず、そんな考え方を軽蔑している。しかし（論者の言っている）何かわからないが人格的な悪の存在を認めなければ、有効な学問は成り立たない。

インターネット上のポルノについて一言——これが無料なのは、ケムトレイルや中東の爆弾が無料なのと同じである。

SOTN (State of the Nation)

March 14, 2017

教えてほしい——どのようにして、このような空恐ろしい犯罪活動が、地上最大の宗教教派によって認められたのか？

答え：何世紀も続いた教会内部での独身制度の習慣が、実は、このようなペデラスティ（少年との性交）/ペドフィリアというサブカルチャーを、発達させることが非常に簡単だった。男性聖職者の多くは、単に彼らの性的衝動をコントロールできないという理由で、それを侍者の少年に投影することは、時間の問題に過ぎなかった。ローマ・カトリックのミサの儀式全体が、終始、聖具室という密室内の聖職者と侍者の間で行われる。

聖具室とは、聖職者の式服が保管され、礼拝の規約が守られる場所である。それはまた、聖職者と侍者がともに、完全に隔離されて、決められた準備を行う非常にプライベートな部屋でもある。この早朝の交流場所と、加えて司祭住宅をもつということは同時に、このような不法な性行動にとって安全な場所を提供し、不適正なことが起こるであろうことを保証し

ている。そして、その通りになった——世界を通じてかなりの頻度をもって。

しかし、このような際限もないペドフィリアに繋がる雰囲気を作り出したのは、実は、ローマ・カトリック教会の攻撃的な新人募集方針だった。アメリカ全土で、常に、ローマ・カトリックの教区は、より多くの聖職者を任命しようとする彼らの意欲が盛んだった。聖職者が多いほど、教区が多くなる。教区が多いほど、日々の会衆が多くなる。教区信徒が多くなれば、十分の一税や献金が増えて、教会は大きくなる。この脈絡において、実はその数が重要なのであって、それは無垢な子供の福祉よりもはるかに重要となる。

ローマ・カトリックは常に、多くのゲイの男、特にペドファイル、ペデラスティ、それにペドフォーブ（子供嫌い）の習性を知っていた。ヴァチカンの昇進の方針は、枢機卿や司教の候補者を、現実に、ペドフィリア・サブカルチャーに共感を示す者たちのあたりに求めることであった。このようにして聖職者階級制度は自浄されることなく、スキャンダルが暴露されても、ローマ・カトリックは滅びることはなかった。

全く都合のいいことに、ローマ・カトリックはまた、それぞれの国家の司法組織内部で、刑罰からの免除を交渉することに長けていた。この保護主義的な法的取り決めは、それぞれの教区で起こるすべての犯罪的ペドフィリアを、適切に処理するために、“カトリック教会法”を適用することであった。その上で、地方の司教が、報告されたペドフィリア犯罪の、すべての問題において、裁判官、陪審員、検察官、それに刑執行官の、本質的にすべての役を果たした。しかし、ヴァチカンの位階制が、ペドファイルに対してこれほど同情的で、かつ聖職者を失いたくないとすれば、それ以外に何が期待できようか？

「考察問題：「バビロンの大淫婦」とは誰か、何か？」

<http://themillenniumreport.com/2016/11/whore-of-babylon-revealed/>

大衆の娯楽

大衆娯楽はアメリカを通じて、明白な性的内容に満ちたものであり、あるものはショッキングで、ペドフィリアを思わせる言葉や絵を含んでいる。Miley Cyrus の仕事の多くは、ポストモダンの音楽が、いかに、子供の健全さを危険にさらし、中には犯罪すれすれのものが浸透しているかを示す、好例になっている。娯楽産業を通じて、これほど性的に視覚的な内容を、これほど向こう見ずに露出するのは、完全に意図的な計画である。人民を軟化させることは、時の権力の隠れたアジェンダにとって、世界的なペドフィリアの一般的な受容のために、絶対不可欠である。



マイリー・サイラスは、ピザゲイトとの深い関連を見せつけている（ピザの模様）。

さらに、あまりポピュラーでない音楽作品だが、Amanda Kleinman（あだ名は Majestic Ape）のようなレコード・アーティストに利用されているものもある⁽³⁾。クライマンは実は、「コメット・ピンポン」の常連で、イベントのホストもやり、音楽のプロバイダーもやっている。彼女は、「コメット」の音楽コーディネーターSasha Lordと共に、ピザのファミリー・レストランということになっているこの店内で、かつて見られ聞かれた、最大の醜い内容のいくつかの作品を創り出している。「コメット・ピンポン」で行われている、この“家庭向き”のシロモノは、百聞より一見するしかない⁽⁴⁾。「コメット・ピンポンのサーシャ・ロード提供…??？」 <http://stateofthenation2012.com/?p=56728>

アマダ・クライマンの音楽は、子供をとりこにして、この音楽とのいかがわしい関係や、このような倒錯した音楽プロダクションに、ずっと関わっている者たちとの関係に、どうやって引き入れるかの研究を提供している。明らかに、クライマンが用いている Tavistock Institute レベルの、神経-言語プログラミング、マインドコントロール・プログラミング、それに高度な娯楽技術は、彼女の音楽的努力の背後に、ある強力な力が働いていることを示している。その力が果たして何であるかはわからないが、この場所のすべてに間違いなく CIA の指紋がついている。

次のビデオは、彼女のレパートリーの多くの例の一つだが、彼女の内容が、いかに若いティーンエイジャーの聴衆を性的に誘惑するように、仕組まれているかの例証である。にもかかわらず、誰が彼女をそう仕向けているか、彼女が誰のために仕事をしているかは、この時点では憶測するよりほかない。とはいえ、どんな児童心理学者でも、彼女の音楽とビデオの内容をつくり出している者は、心と感情の操作の第一級の達人で、おそらく間違いなく、彼女のティーンエイジのファンや聴衆に関する限り、**深刻な悪なる意図**をもっていることを確認するだろう。

「“マジスティック・エイプ”（荘厳なサル）が、子供を狙うヘビー・ブリージング・ビデオで、更に一撃を与える」 <http://stateofthenation2012.com/?p=57043>



「コメット・ピンポン」ピサ店でのアマ
ンダ・クラインマン、別名マジェスティ
ック・エイブ

子供時代のアスレティックスとティーンエイジのスポーツ

「子供のいるところには、必ずペドフィリアがある。」

「ティーンエイジャーがいるところには、必ず彼らを食べ物にする大人がいる。」

元下院議長 **Dennis Hastert** は、一言の反対もせず、彼の権力の地位に滑り込まされた。下院議長は実は、米連邦政府で最も力のある地位である。この職は公共の財布に権限があり、狙った政府のどの部門からでも——下院の正当な合意を得て——資金を奪うことができる。では、どうして、この一介のレスリングのコーチが、このような強力な地位につけられたかといえば、それは意図的な政治的謀略以外にありえない。子供——彼の場合、これまでに4人のティーンエイジャーが現れている——に対する性犯罪でいっぱいを経験をもつ男を操ることが、いかに容易いことか！

「誰が、ペドファイルのデニス・ハスタートを下院議長に選んだのか？」

<http://stateofthenation2012.com/?p=59429>

世界的に悪名高い **Jerry Sandusky** 事件は、公機関が、思いもよらぬ被害者の少年少女に示したショッキングな無視の、もう一つのあからさまな例である。ペンシルバニア州立大のフットボール・ブランドは、関係したフットボール・コーチ助手のジェリー・サンダスキーと、意図的な隠ぺいで有罪となった大勢の大学職員のスキャンダルのために、永遠に傷がついてしまった。しかし、この事件の最も深刻な点は、調査が決して完了しなかったことで、これはこの大学の、遥かにより大きな、ペドファイル・ネットワークに繋がっていると考えられる。

今、連合王国の内部に、国家を根底から揺さぶっている、同じような爆発的スキャンダルが

起こっている。毎日のように、子供の性的虐待のさらなる証拠が明るみに出るが、これは選手を生殺与奪権を握っている、いくつかのフットボール・クラブのコーチたちによる犯罪である⁽⁵⁾。これは、ペドファイルたちが、いかに子供やティーンエイジのスポーツ・アリーナに惹かれることが多いかを示す、一つの例にすぎない。これは、ペドファイルたちにとって絶好の場所で、聖職者が侍者を餌食にするのと同じである。

ボーイスカウト、クラブスカウト、ガールスカウト

(省略)

ペドフィリアを正常化する

いま我々は、ペドフィリアを合法化しようとする、急速に成長してきた世界的な運動にたどり着く。この非常に深刻な社会的操作の運動は、何年も前から勢いを増している。それは、その犯罪活動をますます大胆なものにしてきた、多くのペド活動の根底そのものを形成している。「コメット・ピンポン」ネットワークの内部で起こっていると言われるさまざまなことは、このペドの勢いが明るみに出てきた、申し分のない例である。ついでながらピンポンという遊びは、大人が幼い者たちと、手っ取り早く、まったく疑われることなく、交流の場をつくり出す共通の方法である。

時の権力者が、彼らが働き遊ぶあらゆる所で、ペドフィリアが合法化されることを願っていることは、疑いの余地がない。彼らはもはや、ペド犯罪と結びついたあらゆるリスクに直面して、隠れた生活をしたくないだけでなく、彼らの異常な振舞いを完全に受け入れてくれる社会に住みたいと思っている。彼らは今、西欧諸国に、新しい、ペドに好都合な法律を押し付けることに熱心で、ますます戦闘的になっているようである。産業化された国家に、関連する法整備を操作することが、彼らの優先的戦略になっている。

世界の国家共同体が、オバマ政権の第2期に、なぜ正真正銘のLGBTQの電撃作戦を経験したか、それには十分な理由がある。LGPT運動はこの地上で、最も強力な政治的勢力に成長した。その影響力が危機の境界線を越えたときに、初めてそれは解き放たれて、ペドフィリアの正常化を世界中の国々に押し付けるだろう。ペドファイルたちはすでに、JGBT支持者のかなりのパーセンテージを占めつつあり、彼らの受け入れ難い、忌まわしい主張を、より広く認めさせる機会を辛抱強く待っている。

「LGBT アジェンダ：隠れた裏事情がついに明らかに」

<http://stateofthenation2012.com/?p=38142>



完全に悪魔的な LGBT 運動の背後には、他の多くの隠れた目的がある。しかしペドフィリアの究極の合法化が、その最も重要な目標になっている。したがって、あらゆる必要な手段を用いて、この運動を挫折させることが喫緊の課題である。万一、“世界の影の政府”のペドフィリア/ペドフォービア（子供憎悪）指導者たちが、彼らの目的を達成するようなことがあれば、あらゆる社会が、アズテク人のように、先コロンビア文化のそのように、子供の生贄を行うようになるだろう。

結論

全く不幸なことに、世界は文字通り、ペドファイルとペドフォーブによって運営されている。

何世紀にもわたって、おそらく何千年間も、ある隠れた陰謀団が、彼らの暗黒の技術やサディスティックな儀式を、秘密の森や暗い城に隠れて行ってきた。

富裕で権力あるリーダーや、豊かで影響力をもつ個人市民の、この大きなグループは、隠れ場所から必死に出てこようとしている。オバマ大統領の下で起こった露骨な自由主義化によって、彼らはペドフィリアを正常化する、これまでに例のない機会を見た。

多くの国で次々と起こっているゲイの結婚の合法化は、彼らがペドフィリアを合法化することを望んでいる、法制化の議会通過への踏み石である。

これら心理的に常軌を逸した VIP たちは、実は、子供たちのことを、ほんのわずかでも気にかけていない。彼らは単に、多くの子供たちを、彼ら自身の性的満足と、他の非常に病的で歪んだ目的のために、利用しようとしているだけである。

にもかかわらず、彼らの運動が日ごとに急速に成長しているのは、この社会的な大災難を促進しようとして動かし揺さぶる人が、いま高い地位に、十分いるからである。

ペドファイルの群衆は、本当は自分の隠れ家から出ることを望まない。新しい法を通過させることによって、思いのままに子供たちを性的に虐待し強姦することが、彼らの率直な希望である。子供たちを思いのままに苦しめ殺すことを望んでいる。

国家スポンサー付きの墮胎を受け入れることによって、彼らはすでに、子宮内の胎児を殺す権利を得ている。だとすれば、虐待され不当に待遇された無力な者たちのリストの中に、子供が入って、どうして悪いことがあるのか？

(まだあと続くが翻訳はここまでとする)